

# 第2回臨時議会



平成29年日野町議会第2回臨時議会が5月15日に開会され、提案がありました。3議案について審議され、原案どおり承認・可決されました。

また、議会人事の改選に伴う追加提案があり、議会の構成が変わりました。議長に杉浦和人さん、副議長に蒲生行正さんが再選されました。



副議長 蒲生行正さん



議長 杉浦和人さん

平成29年5月15日

## 日野町議会構成表

職名	議席	議員名	正・副議長	総務常任委員会	産業建設常任委員会	厚生常任委員会	議会運営委員会	予算特別委員会	人口減少対策特別委員会	地域経済対策特別委員会	東近江行政組合議員	八日市布引ライフ組合議員	中部清掃組合議員	監査委員	農業委員
①堀江 和博	8	○	○					○		副					
②後藤 勇樹	8		副			○		副	○						
③奥平 英雄	8		副					○	○						
④山田 人志	8		○	○			○	正	○	○		○			
⑤谷 成隆	8		○		○		正	○	○						
⑥中西 佳子	8			正	○	○	○	○	○						○
⑦齋藤 光弘	8		○		○	○	○	正				○			
⑧蒲生 行正	8	副		○			●	○		○			○		
⑨富田 幸	8		正		○	○	○	○		○		○			
⑩高橋 涉	8				○	副		○		○			○	○	
⑪東 正幸	8				○	正	○	○		○			○		
⑫池元 法子	8					○		○	副				○		
⑬對中 芳喜	8		○	○			副	○		正	○				
⑭杉浦 和人	8	正	○	●	●	●	●	●	●	●	○				

(注) 正=委員長 副=副委員長 ○=委員 ●=オブザーバー ( )内は定数

### 新しい議会構成

◆各委員会の委員および一部事務組合議員が、右の表のとおり選任されました。

### 専決処分

関係法令の制定公布に伴い、2件の条例の改正を行いました。

◆日野町税条例の一部を改正する条例の制定について

上場株式等の配当所得等に係る個人住民税の課税方式の選択について明確化すること、燃費性能等により

軽自動車税を軽減するグリーン化特例の規定の見直しを行うことが主な内容です。

◆日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険税の減額措置の拡充を図るため、軽減判定所得の算定における加算額を引き上げるものです。

### 条例の制定・改正

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

選挙の執行時における投票所の投票立会人等の交替に係る報酬額について、新たに定めるため、条例の改正を行いました。

日野町議会から「定住・移住の促進に関する提言」が町長へ提出されました

日野町議会では「人口減少対策特別委員会」と「地域経済対策特別委員会」の2つの特別委員会で調査研究を進め、成果物として「定住・移住の促進に関する提言」を取りまとめられました。この提言を5月11日(木)に町長へ提出され、第2回臨時議会では、地域経済対策特別委員会山田人志委員長から趣旨並びに経緯の説明がありました。



問い合わせ先 ◆議会事務局  
☎0748-52-6551

# 温故知新

近江日野商人館(大窪)、近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」(西大路)の開館時間は、午前9時から午後4時まで、休館日は毎週月・火曜日、祝日の翌日、年末年始になります。入館料は、大人個人三〇〇円、大人団体(三〇名から)二五〇円、小・中学生一二〇円です。ぜひご来館ください。

して文化二年(一八〇五)に生まれました。文化十一年に、長昭の死去により跡を継ぎますが、文政四年(一八二一)にわずか十八歳で病死しました。

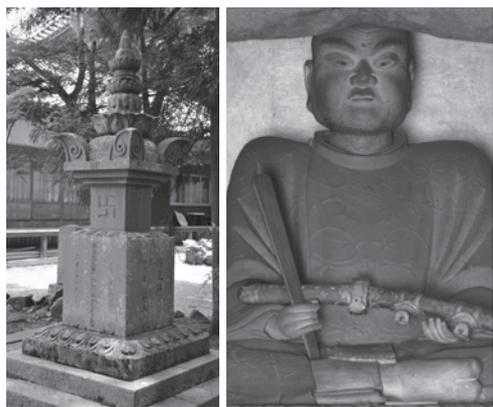
墓所は長璉墓の南側にあり、二方に溝を巡らせた石敷を設け墓域としています。その内側に床面を磚の四半敷とした台石基壇を造り、高さ二百四十二cmの宝篋印塔の墓塔が建てられています。

平成二十九年三月二十三日、清源寺(西大路)境内に残る「仁正寺藩市橋家墓所および奉獻石燈籠」が滋賀県の文化財(史跡)に指定されました。指定されたのは、本堂の南西側に設けられた三代藩主信直・六代藩主長璉・八代藩主長発の藩主墓所や、本堂の南東側に設けられた九代藩主長富室墓所など石塔六基の他、境内に点在する奉獻石燈籠十八基、墓道などです。

## 三代藩主市橋信直墓所

市橋信直は、分家で幕府旗本の市橋政直(二代政信の弟)の長男として明暦二年(一六五六)に生まれました。旗本として徳川家綱に仕えたのち二代政信の養嗣子となり、元禄十七年(一七〇四)に政信の死去により後を継ぎました。

信直の墓所は、盛土により整地を行なったうえで、背面以外の三方に溝を巡らせた石敷を設け墓域としていま



市橋信直墓塔および市橋信直像(清源寺蔵)

## 六代藩主市橋長璉墓所

市橋長璉は、豊後国臼杵藩主稲葉重通の次男として享保十六年(一七三三)に生まれました。宝暦五年(一七五五)に五代直挙の婿養子となり、宝暦八年

に直挙の隠居により跡を継ぎました。

長璉の墓所は信直墓の南側にあり、背面以外の三方に溝を巡らせた石敷を設け墓域としています。その内側に床面を磚(敷瓦)の正方敷とした台石基壇を造り、高さ二百四十二cmの宝篋印塔の墓塔が建てられています。



市橋長璉墓塔および市橋長璉像(清源寺蔵)

## 八代藩主市橋長発墓所

市橋長発は、七代長昭の長男と



市橋長発墓塔および市橋長発像(清源寺蔵)

藩主墓塔は、江戸で見られる様式を取り入れた独自のものであることが特徴です。そして、かつて墓塔は個別の御霊屋に納められていました。小藩でありながら、荘厳な墓所を営んだ市橋家の思いに触れることができます。文化財です。